

# 2024 年 奈良市観光入込客数調査

---

奈良市 観光経済部 観光戦略課



## 目次

<b>第1章 2024年 奈良市観光入込客数調査の概要</b> .....	<b>P 1</b>
1. 調査の期間	
2. 調査内容	
3. 利用上の留意事項	
<b>第2章 奈良市観光入込客数</b> .....	<b>P 2</b>
1. 観光入込客数（年間）	
2. 観光入込客数（月別）	
<b>第3章 宿泊客</b> .....	<b>P 4</b>
1. 宿泊客数（年間）	
2. 宿泊客数（月別）	
<b>参考値</b> 奈良市宿泊施設及び客室数の推移	
<b>第4章 修学旅行</b> .....	<b>P 6</b>
1. 修学旅行生数（年間）	
2. 地域別修学旅行生（宿泊）	
<b>第5章 インバウンド</b> .....	<b>P 7</b>
1. 外国人訪問者（年間）	
2. 外国人宿泊者（宿泊率・月別）	
3. 外国人宿泊者（国別）	
<b>第6章 観光消費額</b> .....	<b>P10</b>
1. 観光消費額	
2. 観光消費額の内訳	
3. 経済波及効果	
<b>第7章 温室効果ガスの排出状況</b> .....	<b>P11</b>
<b>参考値</b> 2023年 奈良市内宿泊施設 CO2 排出量	

# 第1章 2024年奈良市観光入込客数調査の概要

## 1. 調査の期間

---

2024年1月1日から2024年12月31日まで

## 2. 調査内容

---

- (1) 観光地点等入込客数調査（延べ人数）  
観光地点の管理者及び各種交通機関に対してモータリー調査し、集計を実施
- (2) 宿泊者数調査  
ア 宿泊者（日本人・外国人）…「奈良県宿泊統計調査」のデータを基に推計  
  
イ 修学旅行…市内の宿泊施設を対象にアンケート調査を行い、集計を実施
- (3) 観光消費額  
奈良市観光入込客数調査及び県が行う「奈良県観光客動態調査」のデータを基に推計
- (4) 経済波及効果  
平成27年(2015年)奈良市版産業連関表を用いた経済波及効果分析ツールを利用し、奈良市観光産業における経済波及効果を算出

## 3. 利用上の留意事項

---

- (1) 各数字は、四捨五入のため合計が合致しない場合があります。
- (2) 数値を引用する場合は、「出典：奈良市観光入込客数調査」を明示してください。

## 第2章 奈良市観光入込客数

### 1. 観光入込客数（年間）

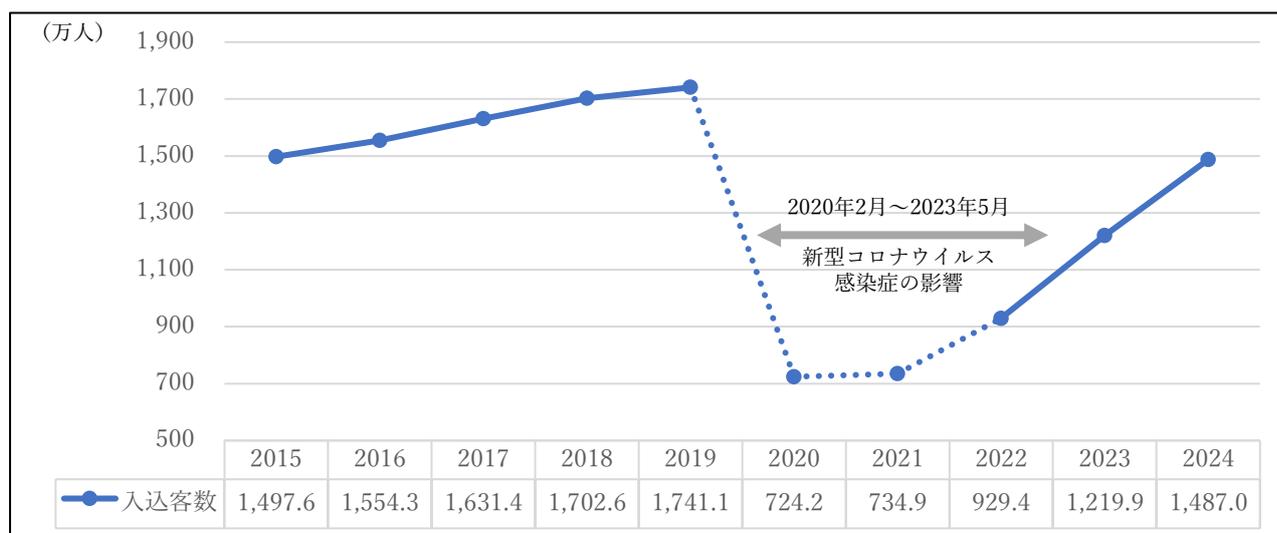
■2024年の観光入込客数は、1,487.0万人（前年対比+21.9%）となり、前年を大きく上回りました。特に、宿泊客数はコロナ禍前の2019年を上回る結果となりました。

図表1 奈良市観光入込客数

単位：万人

		2019年	2023年	2024年	前年対比(差)	2019年対比(差)
一般	宿泊客	120.1	139.6	151.2	+8.3%(+11.6)	+25.9%(+31.1)
	日帰り客	1,206.9	818.8	963.4	+17.7%(+144.6)	-20.2%(-243.5)
	計	1,327.0	958.4	1,114.6	+16.3%(+156.2)	-16.0%(-212.4)
修学旅行	宿泊客	9.4	9.2	8.1	-12.0%(-1.1)	-13.8%(-1.3)
	日帰り客	72.9	67.9	66.6	-1.9%(-1.3)	-8.6%(-6.3)
	計	82.3	77.0	74.7	-3.0%(-2.3)	-9.2%(-7.6)
外国人	宿泊客	44.3	26.0	44.5	+71.2%(+18.5)	+0.5%(+0.2)
	日帰り客	287.5	158.5	253.2	+59.7%(+94.7)	-11.9%(-34.3)
	計	331.8	184.5	297.7	+61.4%(+113.2)	-10.3%(-34.1)
合計	宿泊客	173.8	174.8	203.8	+16.6%(+29.0)	+17.3%(+30.0)
	日帰り客	1,567.3	1,045.1	1,283.2	+22.8%(+238.1)	-18.1%(-284.1)
	計	1,741.1	1,219.9	1,487.0	+21.9%(+267.1)	-14.6%(-254.1)

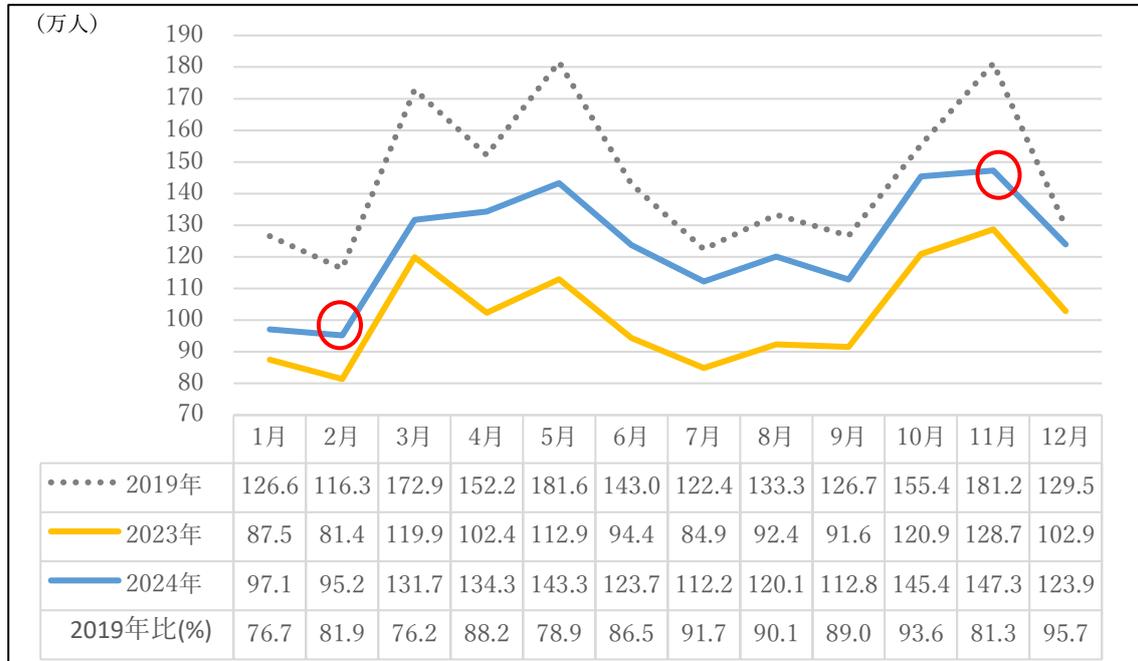
図表2 奈良市観光入込客数の推移（10年間）



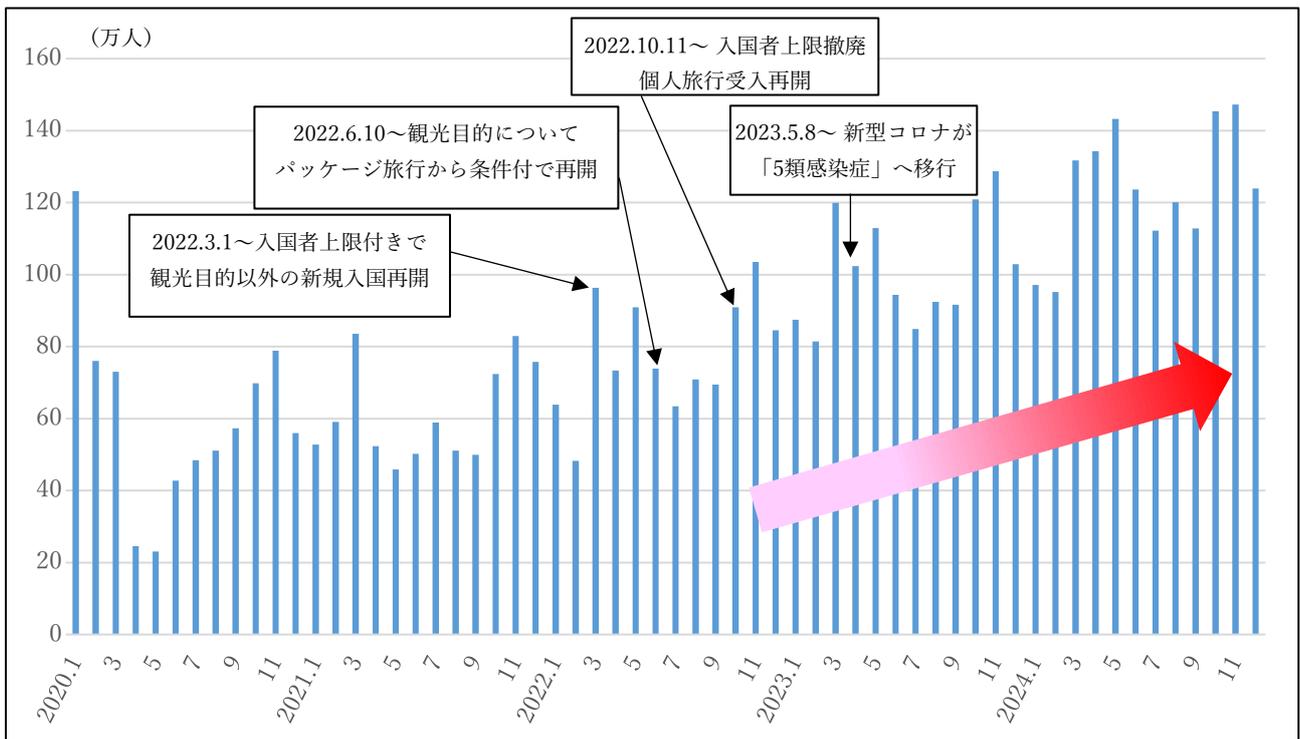
## 2. 観光入込客数（月別）

- 月別の観光入込客数は、全ての月において前年を上回る結果となりました。
- 最小月（2月）と最大月（11月）の差は52.1万人（154.7%）となりました。

図表3 月別観光入込客数



図表4 月別観光入込客数の推移（5年間）

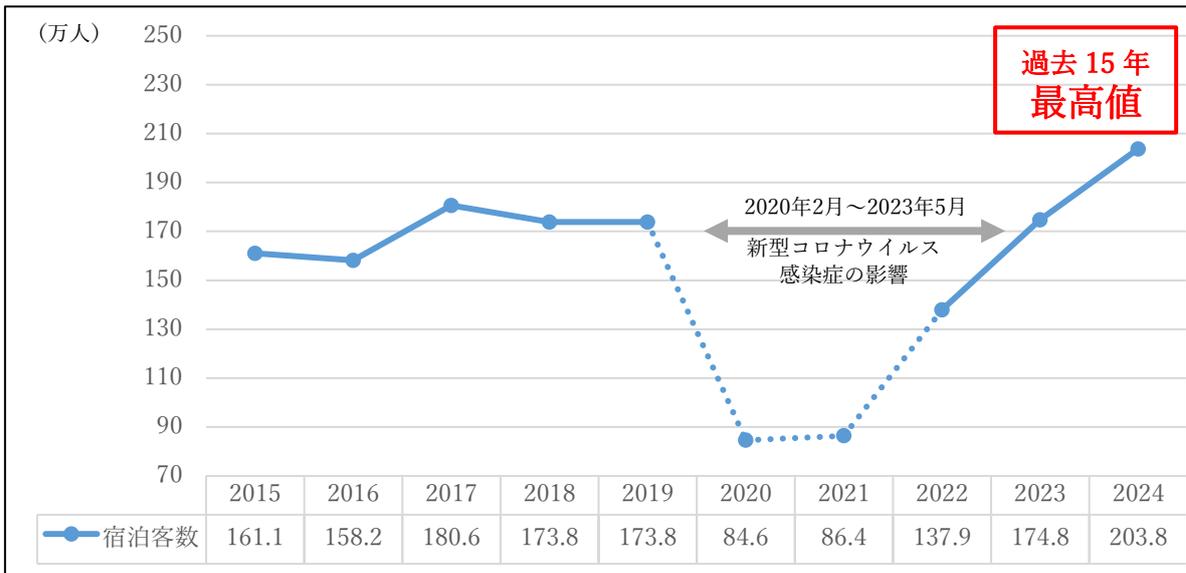


# 第3章 宿泊客

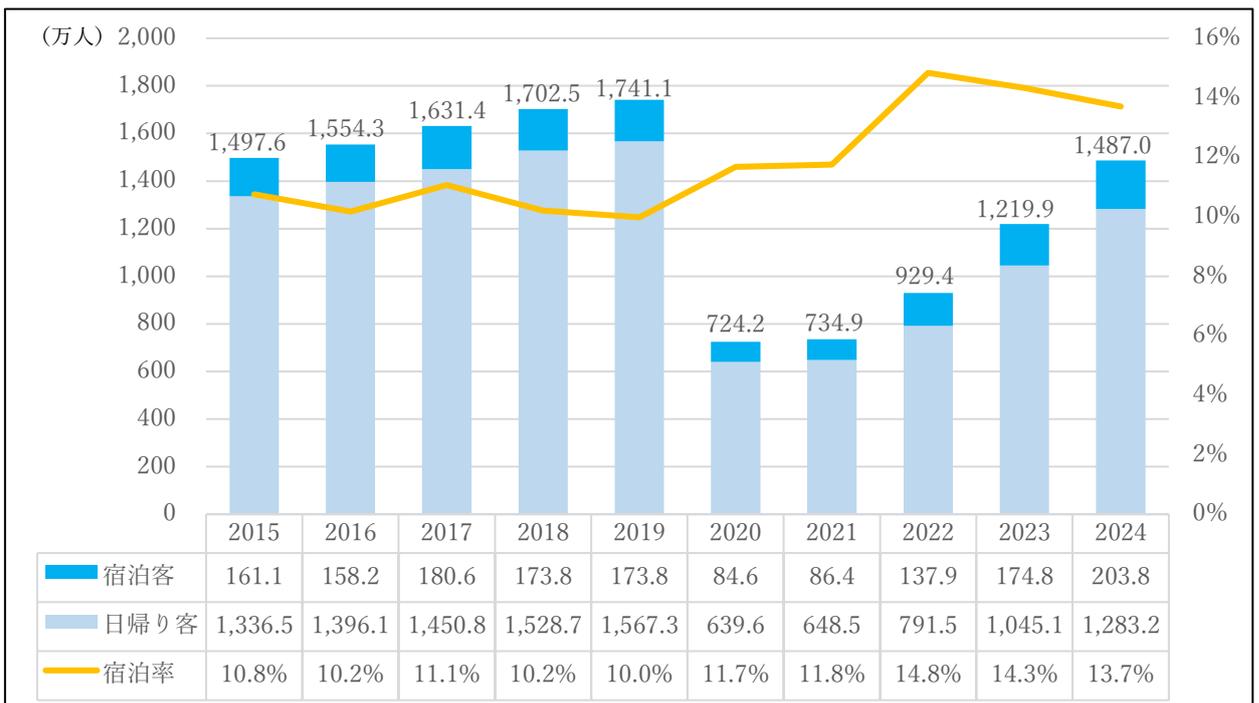
## 1. 宿泊客数（年間）

- 宿泊客数は、コロナ禍前の2019年を上回る203.8万人となり、過去15年では最高値となりました。
- 宿泊率は13.7%となり、前年の14.3%からはやや減少しましたが、2019年の水準（10%）を大きく上回っています。

図表5 年間宿泊客数の推移（10年間）



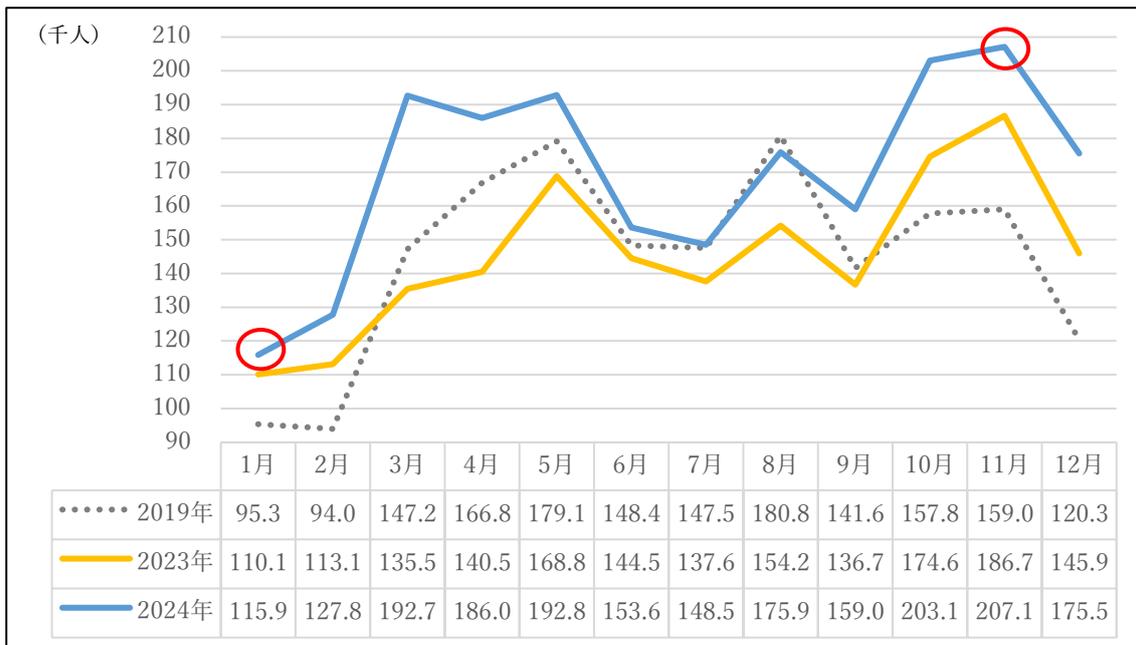
図表6 宿泊率の推移（10年間）



## 2. 宿泊客数（月別）

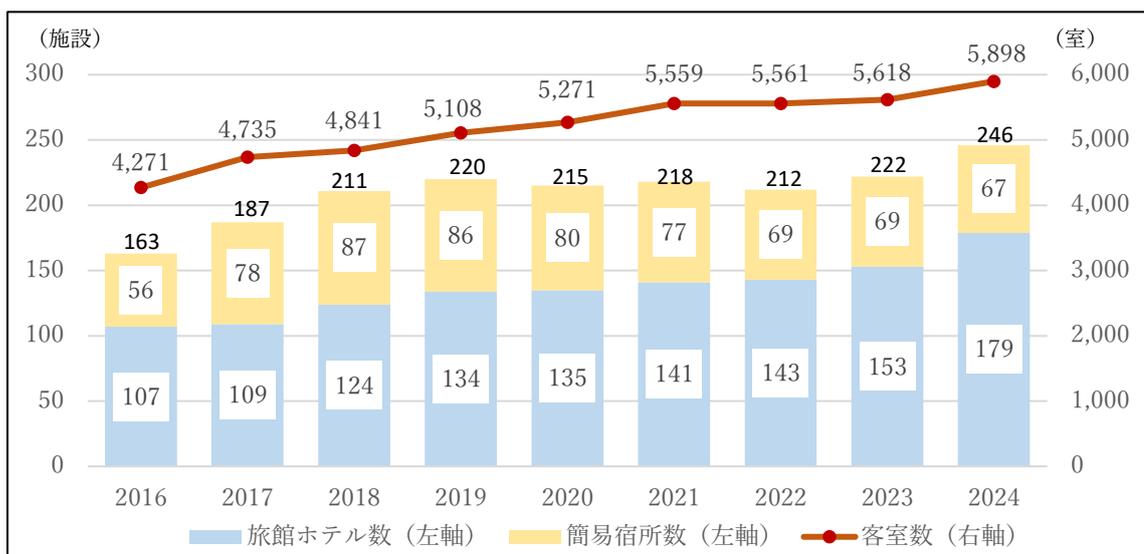
- 月別の宿泊客数は全ての月において、前年を上回る結果となりました。2019年比においても、8月以外は全て上回る結果となりました。
- 最小月（1月）と最大月（11月）の差は、9.12万人（178.7%）となりました。

図表7 月別宿泊客数



参考値

図表8 奈良市内宿泊施設数及び客室数の推移



※厚生労働省「衛生行政報告例」および奈良市保健所データをもとに奈良市作成

# 第4章 修学旅行

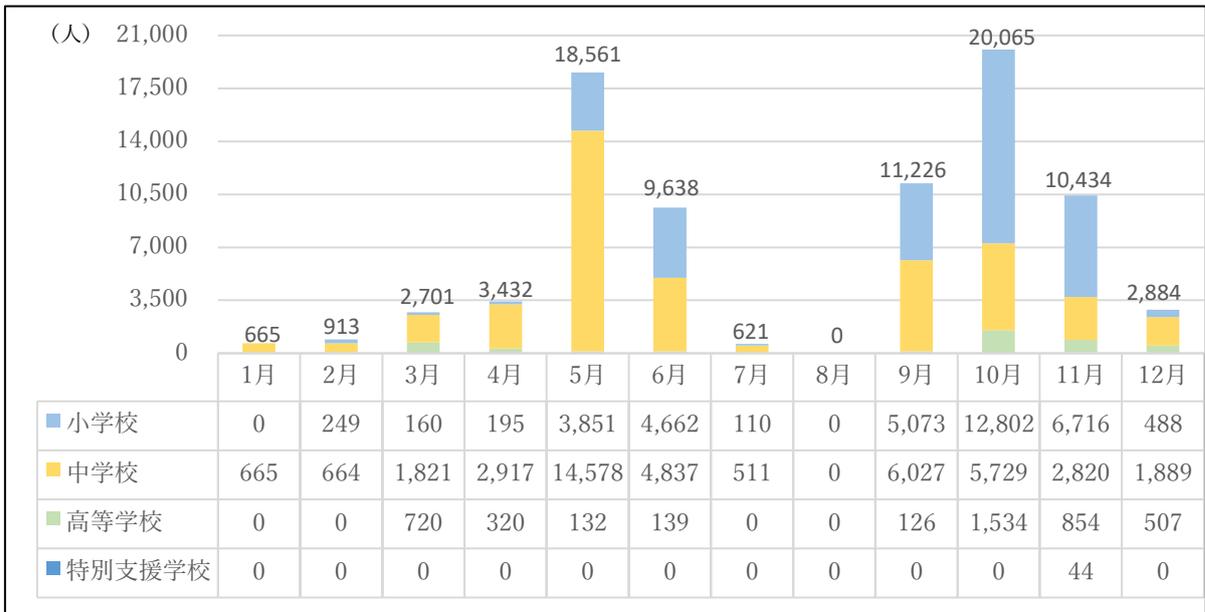
## 1. 修学旅行生数（年間）

■2024年に奈良市を訪れた修学旅行生は、74.7万人でした。

図表9 修学旅行生数の推移（10年間）

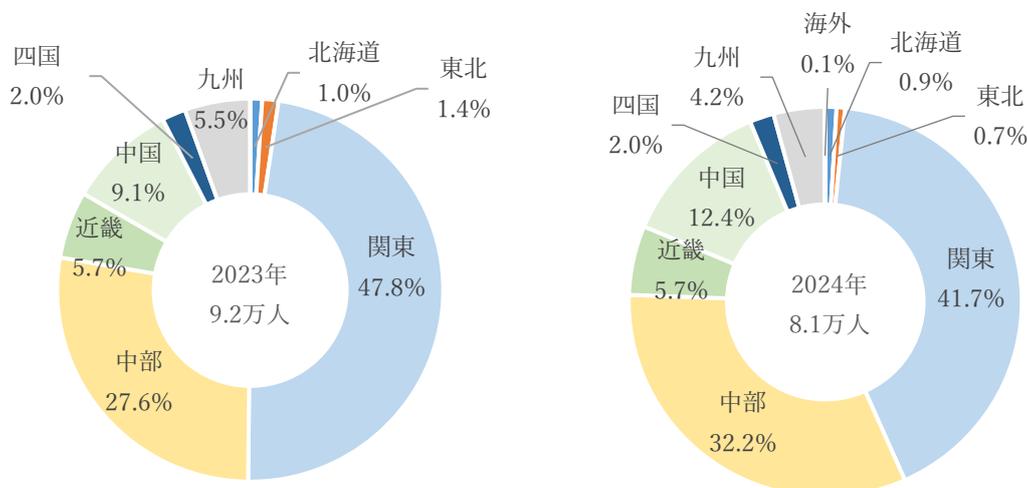


図表10 月別宿泊修学旅行生数（2024年）



## 2. 地域別修学旅行者（宿泊）

図表 1 1 宿泊修学旅行者数 地域別割合

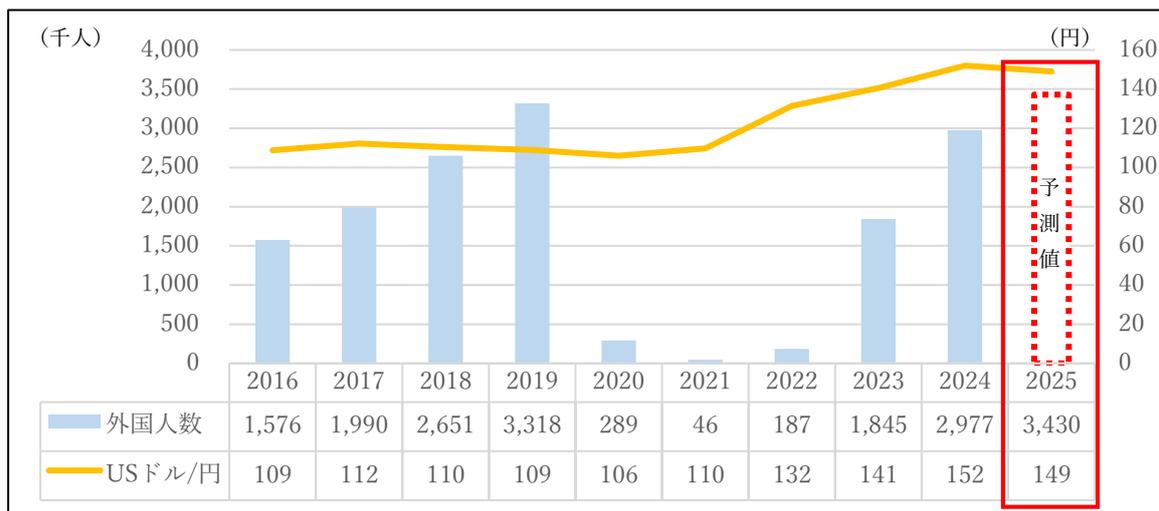


## 第5章 インバウンド

### 1. 外国人訪問者（年間）

■外国人訪問者数は297.7万人（前年対比161.4%）と急激に回復しています。2025年は、コロナ禍前の2019年を上回る見通しです。

図表 1 2 奈良市外国人訪問者数



※奈良市外国人訪問者数の予測は、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数・出国日本人数」のデータを基に予測モデルを作成して算出しています。

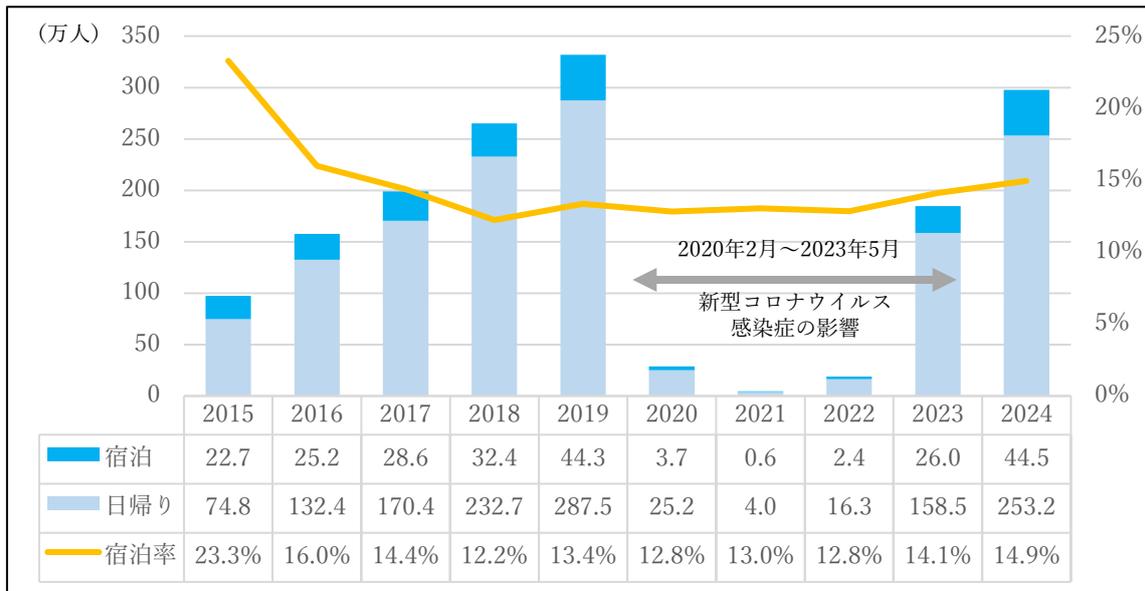
※為替レートは、年間の平均レートとなり、2025年は1月から4月の平均レートとなります。

（出典：日本銀行時系列統計データ表）

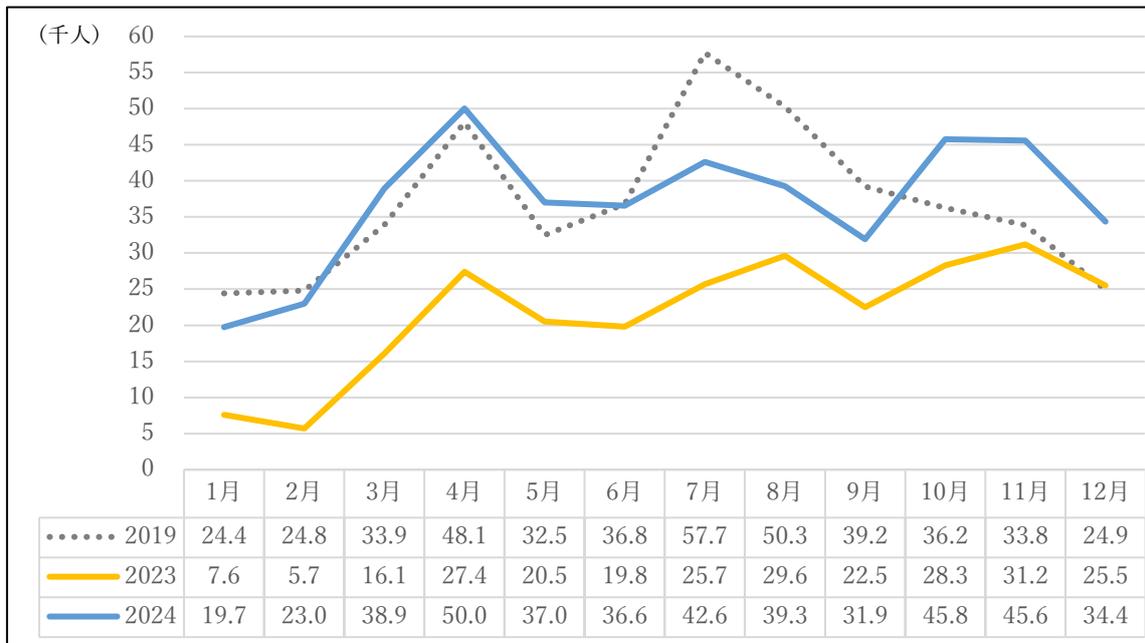
## 2. 外国人宿泊者（宿泊率・月別）

- 外国人宿泊者数は、44.5万人（2019年対比+0.5%）と2019年を上回る結果となり、過去最高値となりました。
- 宿泊率も、前年より0.8%上昇しました。

図表13 外国人入込客数の内訳及び宿泊率（10年間）

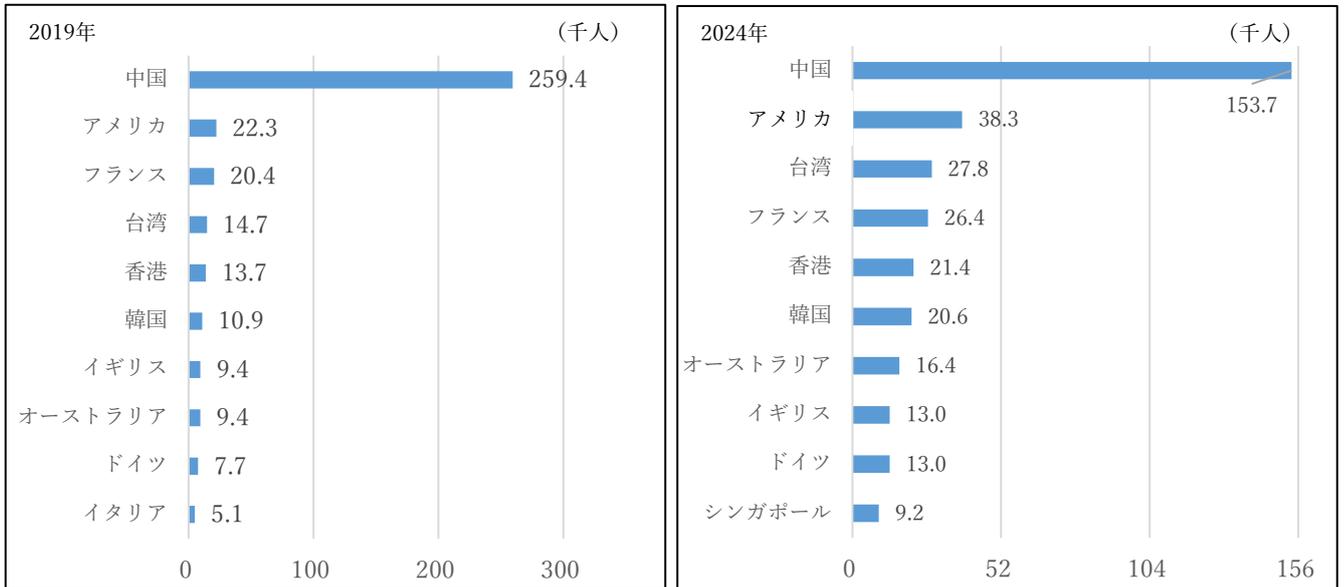


図表14 月別外国人宿泊者数

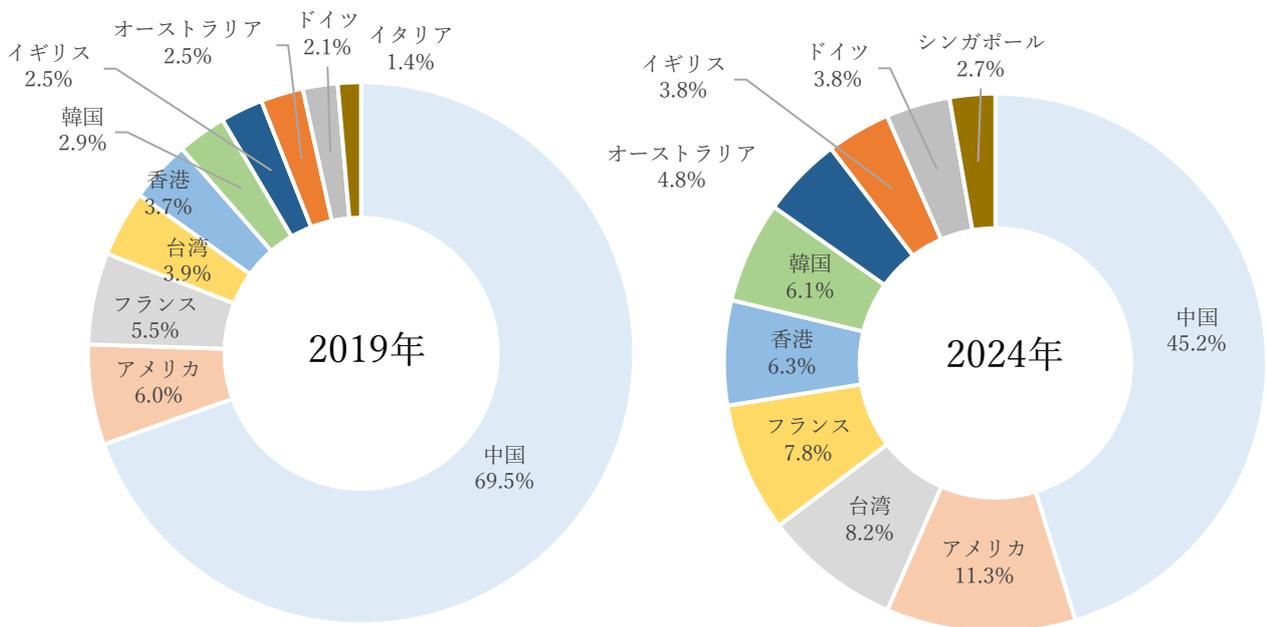


### 3. 外国人宿泊者（国別）

図表15 国別外国人宿泊者数ランキング（上位10か国）



図表16 国別外国人宿泊者数シェア（上位10か国）



## 第6章 観光消費額

### 1. 観光消費額

■2024年の観光消費額は、1,280.7億円（宿泊客647.1億円、日帰り客633.6億円）となり、前年比128.8%でした。

図表17 奈良市内の観光消費額（前年）

	観光消費単価	観光入込客数	観光消費額
宿泊客	31,754円 (29,141円)	203.8万人 (174.8万人)	647.1億円 (509.4億円)
日帰り客	4,938円 (4,644円)	1,283.2万人 (1,045.1万人)	633.6億円 (485.3億円)
合計	—	—	1,280.7億円 (994.7億円)

(注) 調査手法の変更により、2022年以前の数値と時系列による単純比較は出来ない。

### 2. 観光消費額の内訳

■2024年の観光消費額の内訳としては、宿泊客の宿泊代金が15,019円と最も多く、次いで飲食費の7,282円となりました。

図表18 奈良市内の観光消費額の内訳（前年）

観光消費額		
区分	宿泊	日帰り
市内交通費	1,760円 (1,498円)	769円 (761円)
宿泊代	15,019円 (15,115円)	—
買物代	4,939円 (3,371円)	1,210円 (908円)
飲食費	7,282円 (6,632円)	1,603円 (1,650円)
入場料・拝観料	2,267円 (2,269円)	1,017円 (1,132円)
その他（体験費用等）	487円 (256円)	339円 (193円)
合計	31,754円 (29,141円)	4,938円 (4,644円)

(訪問者1人当たりの平均金額)

### 3. 経済波及効果

■2024 年の奈良市観光における観光消費額が生み出す経済波及効果は、1,320 億円と推計しています。

図表 19 経済波及効果（前年）

直接効果	新規最終需要の発生により誘発される生産増加であり、ここでは観光消費額が市内産業の生産額に直接的に貢献する効果	996 億円 (648 億円)
第 1 次間接波及効果	直接効果によって生産が増加した産業で必要となる原材料等を、他産業から購入することで新たに発生する効果	174 億円 (118 億円)
第 2 次間接波及効果	直接効果と第 1 次波及効果で増加した雇用者所得のうち消費にまわされた分により、各産業の商品等が消費されて新たに発生する効果	150 億円 (92 億円)
経済波及効果	最終需要（観光消費額）がその産業の生産を誘発するとともに、それにより次々と各産業の生産をも誘発していく効果	1,320 億円 (857 億円)

※「奈良市版産業連関表」分析ツールにより算出

## 第 7 章 温室効果ガスの排出状況

■2023 年の奈良市内検証施設（旅館・ホテル）の CO2 排出量から、1 施設あたりの平均排出量は 413.5 t となり、市内宿泊施設（旅館・ホテル）の温室効果ガス排出量は 63,263 t（CO2 参考値）と推計しました。本推計には、施設で燃料使用等に伴う Scope 1（直接排出）及び電力などの使用に伴う Scope 2（間接排出）の排出量を利用しています。

#### 参考値

奈良市内宿泊施設	年間総 CO2 排出量/t（1 施設あたり）	年間総 CO2 排出量/kg（宿泊者 1 人あたり）
旅館・ホテル	413.49	20.0

※環境省が公表している CO2 排出量算定のための排出原単位データベースによると 1 人当たりの排出量は平均 31.5kg となり、全国ベースの平均値より下回っていることがわかります。

#### 内訳

客室数基準	年間総 CO2 排出量/t（1 施設あたり）	年間総 CO2 排出量/kg（宿泊者 1 人あたり）
旅館	384.98	24.5
大型ホテル（50 室以上）	842.71	18.9
中・小規模ホテル（49 室以下）	174.84	13.4

※2025 年 6 月 26 日現在、2024 年における温室効果ガス排出量は集計中であるため 2023 年の数値を公表